

第7回 稲敷市事務事業評価 外部評価委員会

日時：平成30年9月21日（金）午後1時00分～

場所：稲敷市役所本庁舎 3階北321会議室

| 発言者 | 発言内容 |
|-----|------|
|-----|------|

1. 開会

| | |
|-----|--|
| 事務局 | 改めましてこんにちは。雨の中、また大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。外部評価委員会第7回目の会議になりますが、よろしくお願ひいたします。始めに横須賀委員長からお言葉を頂きたいと思ひます。 |
|-----|--|

2. 委員長あいさつ

| | |
|-----|--|
| 委員長 | 雨の中どうもご苦勞様でございます。今日は、表題の中身がいつもと種類が少し違ふ感じで、今日で最後のヒアリングになるのかなと思ひます。あまり時間をかけずに、力を入れてよろしくお願ひいたします。 |
| 事務局 | ありがとうございます。では担当課をお呼びいたします。 |

3. 議事

(1) ヒアリング

①東京オリンピック・パラリンピック誘致推進事業

(担当課：オリンピックキャンプ誘致推進室)

| | |
|-----|--|
| 事務局 | それではヒアリングを開始したいと思ひます。 オリンピックキャンプ誘致推進室です。委員長よろしくお願ひします。 |
| 委員長 | それでは説明のほうよろしくお願ひします。 |
| 担当課 | それではオリンピックキャンプ誘致推進室の事業概要について説明いたします。 平成28年10月に、政策企画課内にオリンピックキャンプ誘致推進室を設置し、第1回東京オリンピック事前キャンプ誘致推進本部会議を開催しました。当初から事前キャンプの受け入れについては、対象国をカナダとし、対象の競技種目はトランポリンとしておりました。稲敷市はカナダのサーモンアーム市と長年に渡る姉妹都市交流を積極的に続けております。また、トランポリンについては、いきいき茨城ゆめ国体から正式種目としての採用が決定され、稲敷市で国体としては初めて競技が行われるというものです。 推進室立ち上げ後の誘致活動については、日本体操協会主催のキャンプ誘致イベント等へ参加し、カナダ体操協会のトランポリンを担当している方と交渉したりして、事前キャンプ誘致の実現に向けて活動を行ってきま |

| | |
|-----|---|
| | <p>した。</p> <p>しかしながら、平成 28 年 11 月に三重県四日市市とカナダ体操協会が、事前キャンプ誘致に係る合意書を締結したため、断念せざるを得ない状況となりました。</p> <p>平成 28 年 12 月に第 2 回推進本部会議を開催しまして、今後の方針を検討されました。カナダ国トランポリン競技で交渉を継続、カナダ国以外のトランポリン競技について交渉を検討、カナダ国を対象として別競技の誘致を検討の 3 つです。</p> <p>オリンピック競技大会直前の事前キャンプに拘らず、カナダとのトランポリンを通じた交流の実現を目指していくこと、トランポリンについては、カナダ以外の国の誘致も検討していくこと、事前キャンプ実施に拘るのであれば、カナダ国を対象にしたオリンピック競技種目や、パラリンピック競技種目の誘致活動も検討するという 3 つの方針を決定しました。</p> <p>平成 29 年 4 月には、国体の業務と重複する部分もあるため、教育委員会生涯学習課の国体推進室と、オリンピックキャンプ誘致推進室が統合再編となりました。</p> <p>現在の活動状況ですが、平成 30 年 2 月頃、北京オリンピックのトランポリン競技で 4 位に入賞しました、本市内のクラブ出身の選手から、トランポリンの事前キャンプ誘致についてプロデュースしても良いといった内容のお話をいただき、今年の 3 月中に選手とお会いし、メールのやり取りで協議を重ねまして、この 4 月にキャンプ誘致業務の支援委託について締結しました。</p> <p>締結内容は、東京オリンピックにトランポリン競技で出場する可能性のある国との交渉・情報収集をお願いしております。</p> <p>選手は 2020 年の東京オリンピック出場を狙っており、6 月の世界選手権代表選考会で優勝し、今度の 11 月にロシアで開催される世界トランポリン選手権に出場することが決定しております。また、先月 8 月 4 日・5 日に、群馬県の前橋市で開催されました、トランポリンワールドカップ前橋大会にも出場しました。その際にも情報収集と稲敷市のアピール等をお願いしました。</p> <p>今後の交渉につきましては、10 月のワールドカップポルトガル大会や、11 月の世界選手権ロシア大会に選手が出場した際にも、情報収集とアピール等をお願いしております。また、トランポリンワールドカップ前橋大会の時には、日本体操協会専務理事に、稲敷市のトランポリンパンフレットを出場国に配布していただけるようお願いいたしました。</p> <p>現段階では特定の国と稲敷市との直接交渉はございません。以上が事業概要、経過報告です。</p> |
| 委員長 | ありがとうございました。この委託料の内訳の大半はどういう中身のも |

| | |
|-----|--|
| | のなのですか。 |
| 担当課 | 30年度予算の補正予算の内容でしょうか。 |
| 委員長 | 30年度でも良いですし、決算したもので良いですけど、違う中身であれば違う内容になっていると思います。 |
| 担当課 | 30年度補正予算での委託料は、今説明があったように、204万1000円については、選手にお願いして、海外選手が8月に行われた前橋のワールドカップの事前キャンプとして視察に来ていただいた場合の宿泊費用や食糧費、交通費等の経費として予算を立てさせていただきました。 |
| 委員長 | これは一括いくらではなくて、そういう経費積算でいくらという形なのですか。 |
| 担当課 | そうですね。旅行会社をお願いしまして、宿泊先は稲敷市にはそう無いものですから、成田空港のホテルの宿泊費と、移動費を計上しております。 ただ、今回ワールドカップの時には、出場国が事前キャンプを行いたいという話はありませんでしたので、実際は使っていない状況です。 |
| 委員長 | これは清算できる委託なのですか。 |
| 担当課 | お願いするようになった場合には、それでまた見積もりをいただきます。 |
| 委員 | その旅行会社に支払うのは204万1000円で契約して支払うという形なのか、実際にかかった費用に経費を乗せて支払うという契約なのですか。 |
| 担当課 | 最終的にはそうです。 |
| 委員長 | では204万1000円が見積額という形ですね。 |
| 担当課 | あくまで見積もりとして取らせていただいています。 |
| 委員長 | それで、このキャンプする国を決めるタイムリミットというのはどの辺りなのでしょうか。もう決まり始めていますよね。 |
| 担当課 | 事前キャンプについては、もう既にカナダ国の体操競技は四日市に決まってしまったので、決まり始まっています。 ですが、2020年の春頃にならないと、実際の最終出場国というのは決まらないそうなので、そこまで一応可能性は残されているとは思いますが。 |
| 委員長 | その宿泊施設が成田とかになるのでしょうか。 |
| 担当課 | それはまだはっきり決まってははいないのですが、稲敷市で可能なのは、新利根地区に宿泊施設があるのと、江戸崎地区に旅館とビジネスホテルがあるので、そこも可能ではあると思います。 |
| 委員長 | 機材を使うだけというわけにはいかないですよ。タクシー代を出しているだけで終わってしまうようなことになってしまう。 |

| | |
|-----|---|
| 担当課 | そうですね。来る場合にはできればやはり稲敷市内で滞在していただきたいという思いはあります。 |
| 委員 | ちなみに何人が何日くらいいらっしゃるのですか。 |
| 担当課 | ワールドカップですので、10人前後です。個人種目と団体種目があるので、男女を合わせると選手として10人以上ですから、選手・監督・コーチ合わせて15人～20人くらいです。 |
| 委員 | 日数は何日くらいですか。 |
| 担当課 | 1週間前後です。 |
| 委員長 | 終わったらどっちみちオリンピック村へ行ってしまうのでしょうか。 |
| 担当課 | そうです。 |
| 委員長 | 入村までのお話でしょう。 |
| 担当課 | 今のは、あくまで今回の8月に行われる前橋のワールドカップの予算です。 |
| 委員長 | その時に稲敷市にキャンプ地として視察に来ないかという話ですか。 |
| 担当課 | はい。稲敷市内の会場などを見ていただいて決めていただくかどうかという話で、最大の金額で見積もりは取らせてもらいましたが、結果また使わないで終わってしまったという状況です。 来年も東京で、今度は世界選手権がありますので、世界選手権の時には、半分以上のオリンピック出場国は決定してきますから、その時にもまた来ていただければと思っておりますので、来年度の予算にも計上したいと考えています。 市のアピールをするには、やはり来ていただかないことには難しいです。 |
| 委員長 | どうですか、他にはございますか。 |
| 委員 | 課題や問題点のところに、現状として委託した選手頼みになっているとありますが、委託した選手をサポートする、支援する人などはこの地域にいらっしゃるのですか。 |
| 担当課 | 稲敷市内に、トランポリンのNPO江戸崎スポーツクラブがございまして、選手はその出身という関係もあって今回のお話になりました。 その江戸崎スポーツクラブの代表の方が、茨城県体操協会・トランポリン委員会の委員になっていきますので、そちらの方の協力も得られます。 |
| 担当課 | 先程の江戸崎トランポリンクラブなのですが、委託をお願いしている選手以外でも出身者で3人くらいが世界選手権やワールドカップに出場した選手がいます。 そして今現在でもトランポリンに携わり、一緒になって動いている方も |

| | |
|-----|--|
| | <p>います。委託した選手が忙しい時には、別の方が一緒になってやってくださるといふ契約の形になっています。</p> |
| 委員長 | <p>最終的に目指す効果というか、その辺りの目的はどういうものですか。</p> |
| 担当課 | <p>市民のスポーツ意識の向上を図る契機と捉え、事前キャンプの誘致に取り組む、またスポーツのビッグイベントの開催を通じてスポーツ環境の整備を進め、スポーツによる地域活性化を図りたいと考えております。</p> <p>やはり対象国が決まらないことには、その先を煮詰めるという話は無理なことだと思っておりますので、まずはキャンプ誘致を目標にという形になっています。</p> |
| 委員 | <p>ジャンピングカレンダーで市長さんなど色々な方が飛んでいますが、そういうことで広報にもなるのですよね。</p> |
| 委員 | <p>これは職員の人はどこまで動いているのでしょうか。委託した選手と違って、第三者の方のことばかり言っていますが、誘致そのものは市で行うわけですから、果たして誘致をするにあたって行政側はどのように動いているのか。動かなければ、ただ受け身のようになってしまいます。</p> <p>自分たちはカナダに姉妹都市があるからというのがまず1点で、そして稲敷市はトランポリンの選手を輩出しているから、トランポリンの選手団を誘致しようというお話ですよね。そういうことは分かるのですが、それを自分たちの目的に向かって、市としてどのように動いたのかというのが、あまりよく見えません。私には今の説明ではよく見えませんでした。私は職員の方たちや市全体で、誘致のためにどのように動いているのかということをお聞きしたいと思いました。</p> <p>そうでなければ、単にウェルカムでは絶対来ないと思うのです。本当に誘致したいのであれば、もう少し努力をしてほしいと思います。あと2年しかないので、ぎりぎりまでは大丈夫ですよというお話もありましたが、その辺りはどうなのかと思いました。</p> |
| 担当課 | <p>確かに今仰った通り、職員としてなかなかできることが見つからないです。何故かという、国内ではなく海外が相手なので、稲敷市もカナダのサーモンアーム市とは姉妹都市ですが、今まで誘致を成功している事例は、ほとんど過去からの繋がりがあって、なんらかの関係を持っている人や団体が間に入っています。県内で誘致成功しているのは、大学関係です。つくば市は筑波大です。龍ヶ崎市は流経大などがあります。</p> <p>常陸大宮はパラオですが、それはやはり戦後からずっと交流を結んでいるといった経緯があります。稲敷市はカナダという姉妹都市の繋がりがあるところが今回ダメになってしまったので、なかなか相手と交渉する道が見つからないというのが現実です。</p> |
| 委員長 | <p>国体もあるのですよね。</p> |

| | |
|-----|---|
| 担当課 | はい。国体は来年です。 |
| 委員長 | それもトランポリンなのですか。 |
| 担当課 | トランポリンです。 |
| 委員長 | 会場は。 |
| 担当課 | 江戸崎総合運動公園体育館です。 |
| 委員長 | ということは、そこに設備を借りるのですか、買うのですか。 |
| 担当課 | 設備は買う予定です。 |
| 委員長 | では、それを使ってその後どうするかというようなプログラムは持っているのですか。 |
| 担当課 | 国体後はトランポリンの全国規模の大会の誘致を今考えています。とりあえず国体で全国規模の大会を実施して、翌年以降も全国大会の開催を考えています。あとは国体前であれば、茨城県の強化選手の合宿などもトランポリンで実施したいと考えています。 |
| 委員長 | それは茨城県の選手であって、稲敷市でそれをどのように提言し、手を広げるかという、そういうプログラムはないのでしょうか。今の話だと、あくまでも他の人が来てやる場所としか聞こえてきません。 |
| 担当課 | あとは、県の補助事業がございます。それが採択されれば、各市内の小学校などで、出前のトランポリン講座なども実施したと考えています。 |
| 委員長 | 出前というと、せっかく設備があるのにとおもいます。民間のクラブがあるのでしょうか、市は市で何かスポーツ少年団でも何でも良いですから、何かを始めるといふ考え方は無いのですか。今の発言はあくまでも県の補助事業がとれたら出前講座をやるかという、非常に消極的な話ではありませんか。自分のほうで何かプログラムを持って、国体の後その設備を使って市内で何かをするというのは、無いのですね。 |
| 担当課 | 夏休みに市の体育館で、市民向けにトランポリンの体験会を開きます。それは大人の体験会と子供の体験会を開く予定がありまして、それ以外にも今年の6月に市民に対してトランポリンの体験会を実施しました。 |
| 担当課 | 市内の小学校のほうにトランポリンを持って出向いて、小学生を対象に授業の一コマで体験会を開催させていただきたいということを、学校の校長先生にも話をしています。ただ、指導者というのがやはり、NPO 江戸崎トランポリンクラブの方をお願いするような形になります。職員が指導というのは、経験したことがないので出来ないのです。 |
| 委員 | 多くの選手を輩出した江戸崎トランポリンクラブというのは、どこで練習をしているのですか。 |
| 担当課 | 沼里小学校付近に施設があります。 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | 世界で活躍されているぐらいの方が出られたので、そのクラブ自体も何人か、小学生ぐらいから入っているのですか。 |
| 担当課 | そうですね。市外の方もいらっしゃいますし。 |
| 担当課 | 3歳から90人位の方が、所属しています。 |
| 委員長 | どうでしょう皆さん、よろしいですか。それではありがとうございます。 |

②公共施設再編事業（担当課：公共施設再編室）

| | |
|-----|--|
| 事務局 | それでは、公共施設再編事業について、公共施設再編室からになります。委員長よろしくお願ひいたします。 |
| 委員長 | 説明の程よろしくお願ひいたします。 |
| 担当課 | <p>公共施設再編室課長補佐です。よろしくお願ひいたします。まず、お手持ちの資料をご覧ください。</p> <p>公共施設再編事業につきましては、合併以前に整備されていた公共施設について、今後の老朽化に伴い、維持管理、大規模改修、更新をするためには多額の費用が必要であり、これらの施設について、持続可能で適正な施設規模を目指すとともに予防保全による財政負担の平準化等の必要があることから、稲敷市公共施設等総合管理計画に基づく、公共施設等の再編を進めていくものです。</p> <p>具体的に言いますと、この計画に基づきまして、不必要な公共施設等については解体をしたり、用途を廃止した施設について、借りたいという希望のある事業者がいた場合には、調整等を行なったりしている事業です。</p> <p>年度別の事業費ですが、ほとんどは解体工事と外構工事、あとは機能や用途の変更のための改修工事や、規模縮小のための外構工事等を行っております。平成31年度、来年度に公共施設再編事業、解体工事等の事業は完了予定ですので、2020年、2021年度につきましては、事業費が減額しております。</p> <p>目標の指標といたしまして、延床面積10%減を目指しており、最終的には3割減が目標です。</p> <p>達成状況ですが、今のところは新しく建築した公共施設を入れない場合でいくと、5.1%程度の削減をしております。本年度においては太田小学校の解体工事が決定しております。まだ大きな施設として残っているのは、新利根庁舎の解体工事や、桜川地区センターにある公民館や、保健センター等の解体工事となっております。</p> <p>昨年度から繰り越している事業は4事業がありますが、順調に事業が進んでいる状況です。</p> <p>公共施設再編事業の概要につきましては以上になります。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員長 | これは、計画自体はいつ作られたものなのですか。 |
| 担当課 | <p>この再編方針は、平成 27 年度に公共施設等総合管理計画を策定しております。その中で、前回再編委員会の中で、現状と多少運用方法が変わったりしているので、その見直し等も進めているところです。</p> <p>例えば、27 年度当初に作った計画によりますと、廃止の予定だったのですが、現状で引き続き使える範囲までは使っていきたいと思いますとしている施設であります。</p> <p>桜川の統合小学校の建築が、桜川総合運動公園の敷地の一部を利用して建てることになりました。</p> <p>資料の再編工事のイメージ図のように、総合運動公園のグラウンド部分については当初は整備していく予定だったのですが、少し変更になっている状況です。</p> |
| 委員長 | 今のお話というのは、この資料で言う、更新の再確認と書いてある部分のことを言っているのですか。 |
| 担当課 | そうですね。再確認のほうで進めています。ただ、まだ冊子自体の差し替え等までは進んでおらず、調整段階で、最終的に提示できるようにしたいと考えているところです。 |
| 委員長 | それで、結果的にどういう率になるのですか。当初説明していた、トータルのボリュームの量とは変わるわけですよね。 |
| 担当課 | そうですね。床面積的には、他の建物等もございまして、計画の数値は、その辺りの数値も含めて見直していかざるを得ない可能性もございます。ただ、まだ確定というか、変更のあったところを整理して、調整している段階ですので、最終的なものの成果物については出来上がり次第公表させていただきたいと考えております。 |
| 委員長 | 決まりづらい部分があるのかもしれないけれど、見直すとなれば、見直す最終結果の数字というのは、やはり把握されてやっているのですよね。 |
| 担当課 | そうですね。最終的な目標については、現時点でということはあるのですが、まだ少し公表できるところまでの具体性に欠けているかという感じがします。 |
| 委員長 | そこのところが揺れだすと、要するに維持管理費とか、全体に関わってきますよね。 |
| 担当課 | 維持管理については、公共施設各々のところによって変わってきます。それを踏まえて、その後のマネジメント計画というのがありまして、こちらの方で各施設については、長寿命化計画等を策定するようになっていきます。それに基づいてライフサイクルですとか、長寿命化する施設については、維持経費や大規模改修の経費等を算定する予定になっ |

| | |
|-----|---|
| | ています。 |
| 委員長 | それを説明しているのは、ハード経費ばかりで、実際に最も大きいのは、これを運営する人件費だとか、諸費用ですよね。ですからその部分も当然、計画の中では元々あるのでしょうから、それを見直せば、大きく変わってきますよね。 |
| 担当課 | 本来残さないと言ったところを残すようになると、それに新たな経費が発生することはあると思います。トータル的に考えて、今後将来的に負担の大きくなるような計画を策定せざるを得ないということは考えております。 |
| 委員長 | そういう計画を立てただけけれど、負担が大きくなるという話でしょう。 |
| 担当課 | そうとも言い切れないかと思います。実際のところ規模を縮小したりなどしてござりまして、経費等の削減に努めているところなので。その辺りも含めて試算を改めてさせていただきながら、将来的に、計画後の変更加えていければと考えております。 |
| 委員長 | 現実の人口の減少率や、減少の実数、計画策定時と今の間で、計画時よりも限りがあるわけですよね。ということは、ひょっとしたらもう少し減らさなければならぬということではないですか。 |
| 担当課 | はい。そういう可能性もあります。 |
| 委員長 | ということは、逆行しているような気がするのですが、その辺りはどうなのですか。 |
| 担当課 | 行政側からしますと、もっと積極的に削減せざるを得ないのかとも思います。ただ、実際のところ市民サービスの面から言いますと、そこをすぐやめてしまいますと言った場合に、今まで使っていた方々から様々なご意見があるかと思えます。その辺りとのバランスを取りながら、本当に将来の負担にはならないように公共施設の再編を進めていかなければならないということを常々考えております。うまく調整しながら、より効率的な施設の再編について、市民の皆様方にご理解いただけるような説明も加え、市民の方々の理解を得ながら、より効率的な再編を進めて参りたいと考えております。 それに基づき、基本的なところは押さえておかなければならないとは思いますが、最終的に整理をさせていただいて、皆様にご説明できるような機会があればと考えております。 |
| 委員長 | 資料は4地区に分けて記載されています。4地区の話だから、住民にとっては、何故自分の地区のこれが無くなるのだという見方しかできなくなってくると思います。ですから、施設ごとに、全体としてこれだけあるからこれを1か所だけ残すのだとか、そういう説明の絵になっていな |

| | |
|-----|--|
| | <p>いのですよね、これは。</p> <p>ですから、この絵を見ると、東地区で何故これが無くなってしまふのか、少し伸ばして、と方針再確認というような、そういうイメージに取れてしまいます。こういう資料で例えば説明をしたら、そこに住んでいる人にとっては、何故うちの地区のは無くなるのだというイメージにしか捉えられないと思います。そうしたら、やはり地区としては、残していくような話をしてしまうと思います。</p> <p>要するに、もう 10 何年経って再編しなくてはならないと言っているのですから、合併からのことを言っははいけないと思います。それを、延々と抱えているから、だから減らせないのではないのでしょうか。</p> |
| 担当課 | <p>そうですね。実際問題のところ、そこが最も難しいところです。</p> <p>例えば今再編事業を進めているのですが、そこに記念樹があるので。その記念樹をどうしても移設してくれと言われるようなことがあります。桜の木などですと、そういうものは枝を切ってしまうとそこから病気が入ってしまつて枯れてしまうこともあるので、移設するまでのことはないのかなと思うのです。</p> <p>しかし地元の方々のお気持ちによって寄贈されたものであつて、住民の方々やその代表の方々の思い入れがどうしても強いので、なかなかそういうものに手を付けられないことなどを踏まえて、平成 27 年に作ったのが、このイメージ図になっています。</p> <p>ただ、市としましては、体育館は 3 つもいらないので、メインの体育館が江戸崎となっているので、そこだけ残して、そこに人が集まってくるような整備を進めていくのが、本来の公共施設再編ではなかろうかというの重々承知しております。</p> <p>しかし、今まで申し上げたような諸事情、色々な思い入れのあるもので、それを加味した計画になつてしまつているのです。</p> |
| 委員長 | <p>分かります。公共施設をいじる時の記念樹だとか、記念碑だとか。記念碑はしょうがないので壊さないで邪魔にならないところに動かすほかありません。記念樹は残せるのであれば残して、それを外して何か違う使い方をすればいいので。</p> <p>以前に明治 6 年からあつた小学校を全部無くしましたが、そこは木がとてつも沢山あつて、記念碑もとてつも沢山ありました。新しい学校に記念碑を移設するのに、移設費がかかりました。それで、木は全部切りました。</p> |
| 担当課 | <p>それは大変だつたと思います。</p> |
| 委員長 | <p>全部切つて、新しい木を植えました。それは、こう整備するのに邪魔な木は全部切つたのです。それを残すと、ものすごく中途半端になるのです。ですから全部切つて、極端なことを言うと、ものすごいお金を出</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>して、大きな木を3本入れたのです。それはデザイン上邪魔にならないので、今でも大きな木として生き残っています。それが今はその施設の象徴のようになっています。やはり思い切らないとだめです。</p> |
| 担当課 | <p>それが理想ですね。</p> |
| 委員長 | <p>いや、理想ではなくて。木は何百年の何とかの木を移設したとよく言いますが、あれは、それだけの思い出と価値をどう生かすのかというと、それよりはもっと新しい森を作ってあげるとか、そのほうがずっと良いです。移設費というのは馬鹿にならないですから。</p> <p>ただ、石碑などはどうしようもないのですよね。あれだけは動かすほかはないです。</p> |
| 担当課 | <p>そうですね。寄贈していただいた石碑や銅像ですとか、一応区画にまとめて移設等をし、その後跡地が更地になったりした場合、例えば将来的に不必要な財産でしたりしますと、処分とか、その他利活用していただけるような事業者がいましたら、そちらのほうへお譲りしたいです。</p> <p>ただ、その地区の方々の根強い思い出があるので、計画上で謳って、それに向けて実践していくことは可能だと思いますが、なかなか難しいところもあります。</p> |
| 委員長 | <p>例えば、木というとなんの木なのですか。</p> |
| 担当課 | <p>桜の木があります。ソメイヨシノです。</p> |
| 委員長 | <p>桜の木は絶対残せと言われていたのですが、全部切ってしまった桜通りというのがあって、今は桜通りに桜の木が1本もありません。</p> <p>整備が終わったところは1本も無いのです。</p> <p>近くの道路に桜並木でも作ってあげれば良いのです。それで終わりにすれば良いと思います。</p> |
| 担当課 | <p>記念碑等を動かしたところに、新たに植栽等で寄付を頂くのは可能なので、今ある木を切らせてくださいという交渉を実際に行っているところもあります。</p> |
| 委員長 | <p>山桜ではないのでしょうか。</p> |
| 担当課 | <p>ソメイヨシノです。あとはシダレザクラです。その辺りも意図しているものがあって、それが旧4町村にそれぞれ思い出のある方がいらっしゃいますので、取り扱いによって違ってまいります。</p> |
| 委員長 | <p>代替措置を考えて思い切ってやらないと、そういうものは全然進まないですよ。</p> <p>役所というのは結構ひどいところですから、そういうのはバサッと切ってしまうというのが基本で、そうしないと次の段階へ行かないですよ。</p> |

| | |
|-----|---|
| 担当課 | 本年度以降はそれが本題です。できればやりたいです。 |
| 委員長 | 迷わずやっていたいかなければだめですよ。 |
| 担当課 | はい。 |
| 委員 | 東庁舎の跡は、何も無くなりました。利活用を検討しているとお書いてありますが、具体的にそれは進んでいるのですか。 |
| 担当課 | 東庁舎につきましては、今外構工事を発注してございます。東庁舎は125号線と、旧県道のほうで利根川の堤防のほうへ抜ける道路があって、両方から出入りできるようにということで整備をしました。 ただ、3000平米ぐらい余剰地があるので、そちらについては払下げ等を検討しています。不要財産を持たないということで、少しでも規模を縮小して、維持管理経費を縮減に努めていきたいと考えております。 |
| 委員 | 払下げの時の土地の価格というのは、やはり低いのですか。 |
| 委員長 | 払下げの時の価格は、路線化等、十分市場調査をいたしまして、その金額が最低ラインだということで公募をかけます。 また、誰でも良いということではないと思うので、跡地をどのような利用をされるのですかとお伺いした上で公募していきたいと考えております。 |
| 委員 | はい、ありがとうございました。 |
| 担当課 | 他にいかがですか。 |
| 委員 | 目標なのですが、延べ床面積で出していますが、維持管理経費のほうが良いのではないですか。効果が非常に良くわかる気がします。 |
| 担当課 | 一番出しやすく、一番無難なところで床面積というのを出させていただいております。ただ、実際のところ、床面積での効果は、現在あるものを削っていただけでしたらトータル10%前後となります。この庁舎の床面積を加えますと増減は5%程度にしかならないのではないかとこの試算をしています。ただ、ご指摘もありましたように、今までは4地区を踏まえた計画だったのを、大胆にということであれば、より具体的な、例えば維持管理コストを目標にした計画策定ができるかと思っております。 |
| 委員 | 解体工事においても、落札率は低いのですか。 |
| 担当課 | 今回そちらも色々と監査のほうからもご指摘いただいております。工事の出し方等にもよるのですけれど、実際に落札する業者さんには最低制限価格等を設けていないので、自分のところで処分場を持っているところとか、そういう業者さんが落札した場合には、落札の低い率で落札してしまったりするところもあります。 しかし、そうやってきた場合にそもそも設計の内容は正しかったの |

| | |
|-----|---|
| | <p>か、というふうになってくると思うのですが、そちらにつきましても、そういった疑念が多々過去の工事等でもありましたので、現在は適正な設計書を作ることをしています。</p> <p>今回落札した太田小学校については9割5分、6分くらいの落札率になっています。それだけ設計の精度が上がってきたのかなと考えています。</p> |
| 委員長 | <p>それは9割5分になった時は、例えば構造物について1平米当たりの単価として見た時は、今は安くなっているのですか。</p> |
| 担当課 | <p>今は安くはないです。あとは、当初は見つからなかったアスベストなど、設計した時には積算が漏れていたところがあって、より適正な設計書になるように心がけているところです。</p> <p>前回の、落札率が低かったというのは、落札した業者さんの業種にもよりますが、この金額で落としてもらえるのであればということです。</p> <p>ただ、管財課のほうからも色々ご指摘いただきながら進めていきます。解体工事では、設計価格の出し方と単価の出し方が難しいもので、業者さんとの見積もり合わせ、これはいくらぐらいで出来るのかということ聞きながら設計書を作り上げていく形になってきます。たまたま見積もりを取った業者さん等の価格が、少し上乘せされている部分が大きかったかなということがあり、実際は落札価格が非常に安かったということだと思います。</p> |
| 委員長 | <p>現実には建築は、設計施工で発注がどんどん増えている段階なのです。そういう意味で言った時に、建築設計屋さんが本当に解体設計できるのかというと、少し疑問があります。全部このようにやっているのですけれど。そのお金だけ見たときに、無駄なお金だなと思ったのですが、逆の言い方をすると競争見積もりで、設計施工でやらせて、その分どこに処分内容まで、きちんと管理するよう建築事務所に委託するのが良いと思います。</p> |
| 担当課 | <p>入札の方法ですね。</p> |
| 委員長 | <p>入札の方法自体がこれは間違っていると思います。</p> |
| 担当課 | <p>設計図書を作って、ということではなくて、ということですか。</p> |
| 委員長 | <p>設計図書を作るよりは、要するに、設計施工でやってくださいということで、当然解体設計書を出させて、その通りに実行したかどうかという部分を、今度は管理の部分を建築事務所が監視していく。</p> <p>決められたところに処分しているかというのが一番の問題ではありませんか。</p> |
| 担当課 | <p>そうですね。県指定の処分場など。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員長 | その辺りの山に捨てられてしまっただけでは困ってしまうわけですから、その辺りのことに一番気を使ったほうが、よっぽど良いような気がします。 |
| 担当課 | 私共も抜き打ちで視察に行ったりしています。今はマニフェスト等の関係で本当に厳しくて、ちゃんと書類も頂いています。それは担当の監督員のほうもそうですし、竣工を進める管財のほうでも確認しながら、適正に処分されているものです。 |
| 委員長 | でも市は現地まで見にいかないのでしょうか。 |
| 担当課 | 旅費は取ってあるので、行こうと思えば行くことができます。 |
| 委員長 | 普通、民間の大手会社は、自分のものが変なところから出たらまずいから、皆最終処分場までに着いて行くのですね。無駄な経費だと私は言っているのですけれど。結構ちゃんとした給料をもらっている人が、最終処分場まで確認に行くのです。 |
| 担当課 | 一応市の公共施設再編室の予算でも、信用していないからということではないのですが、確認のための予算は計上してあります。 |
| 委員長 | どうでしょうか。他はよろしいですか。はい、ありがとうございました。 |

③コールセンター事業（担当課：収納課）

| | |
|-----|---|
| 担当課 | <p>よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、コールセンター事業の概要につきまして、お渡ししました参考資料を参照いただきご説明いたします。</p> <p>コールセンター業務は平成 27 年 6 月 2 日より、固定資産税、軽自動車税、市県民税、国民健康保険税の納期限を越えて納付が確認できない納税者に対し、コールセンターより納税の案内を行う業務です。業務の目的は、①滞納の予防、②防災無線での案内中止に伴う代替、③市民からの要望、督促状を出す前に連絡が欲しい等です。</p> <p>コール回数は 1 件につき 6 回までです。コール時間帯は平日午前 9 時～午後 8 時まで。土日祭日は午前 9 時～午後 5 時まで。ただし、年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日、お盆 8 月 13 日～15 日は除いております。</p> <p>コール実績は平成 27 年度 13,440 件 43,726 コール、平成 28 年度 14,523 件 50,909 コール、平成 29 年度 12,827 件 43,796 コールです。委託先は株式会社茨城計算センターです。</p> <p>事業内容の住民への周知は、1. 稲敷市広報への掲載、毎年 2 回。4 月号 10 月号に掲載。資料の後ろから 2 ページ目のように掲載しております。2. 市ホームページへの掲載、これは常時行っております。</p> <p>続きまして 2 ページ目、業者への委託内容やコールセンター業務の接続形態の資料です。委託業務の内容として、納税についてアナウンスをす</p> |
|-----|---|

るだけでなく、住民からの依頼が合った場合に、納付書再発行、口座振替、納税相談等についても、収納課へのスピーディーな連絡が可能になっています。下図のコールセンター業務の接続形態の図で示すとおり、IBBN 回線でデータの送受信を行うことにより、個人情報のセキュリティを加工しながら、市税未納の電話アナウンスを行う業務です。

評価表の目標指針の評価については、平成 28 年度が、実地結果 98.3%，平成 29 年度が目標指針・指標 98.5%，実施結果 98.3%であり、若干目標徴収率に及ばなかったため、「目標に達していないが一定の成果が見られる」になっています。

内部評価判定は現状維持となっております。理由は、市税の徴収率は、その事業の実施後伸びている事業の面から見て、現状維持が望ましいとなっております。

今後の改善計画につきまして、「事業に対する市民の周知を工夫していきたい」については、先程説明したとおり、広報への年 2 回の掲載や、市のホームページへの常時掲載と、収納課への問い合わせがあった場合、事業を丁寧に説明することによって、最近では詐欺まがいの電話だという市民からのクレームはほとんど無くなりました。

取り組み方法の具体的な理由として、委託先とコスト縮減及び費用対効果の検証は必要ということで、委託先コストの縮減につきまして、コールセンター事業に対する県内他市町村からの視察のある状況ですので、今後稲敷市と同じ形態で事業を行う市町村が増えれば、コストも縮減されていくのではと考えています。

費用対効果の検証につきましては、お配りした参考資料の 3 ページ～5 ページをご覧ください。まず 3 ページで、事業を開始した平成 27 年度は、26 年度と比較して、督促発送件数が 5,314 件に減、徴収率が 0.76% の増ですので、「②実質実績(効果)－①事業額」で、20,267,637 円の費用対効果がありました。

次の 4 ページをご覧ください。平成 28 年度は、27 年度と比較して、督促状発送件数が 568 件の増ですが、これは平成 28 年度は国民健康保険税の納期が 6 回から 8 回になったことによるものです。これは、他の督促状発送件数が減っていることで検証できます。徴収率が 1.29% の増ですので、「②実質実績(効果)－①事業額」で、43,144,971 円の費用対効果がありました。

次の 5 ページをご覧ください。平成 29 年度は平成 28 年度と比較して督促状発送件数が 1,410 件の減少、徴収率が 0.42% の増ですので、「②実質実績(効果)－①事業額」で、8,200,686 円の費用対効果がありました。

以上のように、費用対効果のある事業であります。加えまして、コール

| | |
|-----|---|
| | <p>センター事業を開始した平成 27 年度～29 年度まで、市税の徴収率は大きく増えております。</p> <p>これは、コールセンター事業のアナウンスによる滞納の早期予防効果も大きく寄与していると考えております。説明は以上です。よろしくお願いたします。</p> |
| 委員長 | <p>実質実績という計算が、収納額ではなく調定額で比較増減率をかけているけれど、調定は帳簿上の話で、実質お金が入った額で言うとは違うのですよね。</p> |
| 担当課 | <p>収納額の伸びですか。収納額は伸びているのですが、調定、全体に出すということは器の中で督促を出すということで、その器の中の伸びで一応出しています。</p> <p>収納額は伸びています。もちろん今は数字を言うことは出来ないのですけれど。</p> |
| 委員長 | <p>要するに調定額より収納額のほうがよいということですね。</p> |
| 担当課 | <p>収納額は、器が違えば税が伸びない時もあり、徴収がずっと上がっているわけではないので。</p> |
| 委員長 | <p>資料の 26 年と 27 年を見ると徴収は落ちていきますよね。</p> |
| 担当課 | <p>26 年と 27 年ですね。これは、器が 4 億下がっており、26 年と 27 年は課税が下がっているため、徴収率で比べないと比較できません。</p> <p>全体が減っているため、その内からどれだけ徴収するかということになります。</p> |
| 委員長 | <p>目的は収納額を上げることですね。</p> |
| 担当課 | <p>徴収率ですね。10 の内 9 と、8 の内 7 とかでずと違ってくるので。課税額が 4 億円、26～27 年度は減っていますので、これは集められない部分です。</p> |
| 委員長 | <p>それはそうでしょうね。</p> |
| 担当課 | <p>そこからいくら集めるかというのが徴収率です。</p> <p>最近徴収が伸びています。そして 27～28 年の収入も増えています。</p> |
| 担当課 | <p>分母が減っているのです。</p> |
| 委員長 | <p>コールセンター事業は、どのぐらいの市町村が実施しているのですか。</p> |
| 担当課 | <p>県内は、鹿嶋と土浦と、ひたちなかですか。形態や、やり方は少し違います。あとは都会ではやっています。</p> |
| 委員長 | <p>これは、茨城計算センターからの提案ですか。</p> |
| 担当課 | <p>いいえ。コールセンターをやるというので色々と検討をしまして、このような形態となりました。</p> <p>どうしてもセキュリティの面から、IBBN（いばらきブロードバンドネ</p> |

| | |
|-----|---|
| | ットワーク) で結んで、情報も即時に見ることができるということで、検討した結果です。 |
| 委員 | 随契ですか。他に行える業者がないということですか。 |
| 担当課 | こういう形態でやっているところはないですね。 1回茨城計算センターと IBBN で結んで、それをまたコールセンターの業者と同じ専用線で結んでいます。 |
| 委員長 | 茨城計算センターはやっていないですねこれは。 契約していますけれど、実際にデータを流して、どこかのコールセンターがやっているのでしょうか。茨城計算センターが直営で行っているわけではないではないですか。 |
| 担当課 | そうですね。データの管理だけですね。 |
| 委員長 | そんなことで良いのですか。個人情報とか。 |
| 担当課 | 逆に、総務省のほうとも検討しまして、そのようにやっています。年金なども、この間個人情報が漏れたようなことがあるので、個人情報には十分な通信料をかけて、専用の線を結んでいます。専門のコールセンターにおいても、記録媒体等を外に持ち出せないようにとか、そういった資格があります。きちんとした、国際的資格まで取った業者が行っています。。 |
| 委員 | コールセンターがですか。県内で委託している市町村は、皆さん茨城計算センターさんを使っているのですか。 |
| 担当課 | 他市では、コールセンターについては、市役所の中で臨時職員を雇って、専門の職員を1人置いて、その部屋でやったりしているとのことでした。しかし、検討したときに、夜や祭日や土日も実施するということがあったので、場所の問題等もあり、稲敷市ではこの形態となりました。 |
| 委員長 | コールセンター的な利用の仕方というのは、こういう業務をやっている会社というのは、現実にはとても沢山あるのですよ。 それが、直接やらない茨城計算センターと、何故契約しているのかなというのが疑問です。茨城計算センターが、こういうことについてのノウハウを持っていますよと提案して来たから契約したのかと思ったからです。 茨城計算センターは実際にはコールセンターを持っていないでしょう。コールセンターを持っていないのにコールセンター業務を受けるということは、下請けに出すということです。税金を納めていないというのは、個人情報の中でも、やはり一番問題になることです。 |
| 担当課 | ですから、そういった専門的な、ひたち情報システムという、このような事業を行っている業者があるのですが、そこと IBBN を結んで行っております。 |
| 委員長 | そことは何故契約しないのですか。 |

| | |
|-----|--|
| 担当課 | それは、例えばシステムで直に納入状況などを送るので。 |
| 委員長 | そこが問題です。逆の言い方をすれば、茨城計算センターに全ての会計データや納税データを握られているから、茨城計算センターとしか契約できないのではないですか。違いますか。 |
| 委員 | そうですね。全て業務を委託しているから。 |
| 委員長 | 茨城計算センターと契約しなくたって、茨城計算センターはその情報を各所に流さなくてはならない義務はあるのです。市が指示すれば。だから、コールセンターと直接契約できるのではないですか。 契約の仕方なのですが。茨城計算センターを通すことで、茨城計算センターが何%か取っていくわけですよ。 |
| 担当課 | 茨城計算センターのシステムを使って、こちらでもデータのやり取りを確認して、納税者に連絡を取ったりと、そういった方法も取っているので、システムの問題と、あとは、専用線ですね。セキュリティの面から。 |
| 委員 | 専用線は誰の所有物なのですか。茨城計算センターの回線ですか、市の所有ですか。 |
| 担当課 | 業者が引いたものです。 |
| 委員 | では、それも含めてのコールセンター委託業務ですね。 では他の業者でも可能ということですね。 |
| 担当課 | IBBN を引いてやればできないことはないのですが。 |
| 委員 | 技術的に難しいのかもしれませんが。 |
| 委員長 | 技術的には簡単なものですよ。 |
| 委員 | そうなのですか。どちらにしても、茨城計算センターと随契していることの合理性がないという話ですよ。 |
| 委員長 | そうです。茨城計算センターがダイレクトにやる業務ではないのに、茨城計算センターと契約することにまず合理性がありません。 データを掴んでいるから、茨城計算センターと契約せざるをえないという。しかし、その掴まれている契約の中身のデータというのは、あくまでも稲敷市のデータです。茨城計算センターのデータではありません。 ですから、そちらの主体のことで、契約の時に、何故茨城計算センターを通さなくてはならないのかというのが疑問なのです。それに疑問を持たないで契約していることのほうが、もっと疑問なのです。 |
| 委員 | どこか違う事業者が出てこないか、この状態ばかりになってしまいます。 |
| 委員長 | 違う事業者を使っているところはいくつかあるのですが、どうも茨城県は皆茨城計算センターを使う。 |
| 委員 | まあ地元ですからね。でも今のお話だとそうではなさそうですから。 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | 結局 IBBN も、NTT の回線を使うわけです。最終的には電話回線を使うのです。 |
| 委員長 | どんな暗号化をしようが、その形の技術は何種類もありますから、やりやうなのですよ。 |
| 委員 | そうですよね。 |
| 委員長 | 他にはいかがですか。よろしいですか。ではご苦労様でした。 |

④シティプロモーション推進事業（担当課：秘書公聴課）

| | |
|-----|---|
| 担当課 | <p>お疲れ様です。本日は秘書公聴課、シティプロモーション推進室長です。係長です。それではシティプロモーション推進事業についてご説明させていただきます。</p> <p>実施計画書では、シティプロモーション推進事業と、愛しき稲しき推進事業の2枚に分かれています。シティプロモーション事業全体についてご説明いたします。お配りしている資料の、シティプロモーション推進事業について説明をさせていただきます。</p> <p>シティプロモーション推進事業につきましては、第2次総合計画の重点プロジェクト関連事業に位置づけられている事業です。まず、シティプロモーションの目的ですが、一昨年策定されました、シティプロモーションアクションプランにも掲げているとおり、稲敷市の魅力を発信し、認知度や愛着心を高め、地域コミュニティの活性化や市民協働によって、心豊かな暮らしを推進し、選ばれる市を目指すということです。</p> <p>このためにまず、稲敷市に関係する人々に、誇りや愛着を持っていただくということ、稲敷市を好きだと言ってもらえる人を増やすことを目標として掲げています。そして、稲敷市を好きな人を増やすことによりまして、交流人口や協働人口の拡大、そして定住人口の拡大に繋がりたいと考えております。</p> <p>そして、シティプロモーション事業についてですが、資料のほうにありますように、平成28年度にシティプロモーション推進室が設置されまして、平成29年度から本格的な事業実施ということです。</p> <p>平成29年度の事業につきましては、決算額が4,150,392円です。主な事業を掲載しておりますが、29年度には稲敷市シティプロモーション推進委員会を立ち上げております。副市長を委員長として、各部の職員からなる委員会を設置しまして、全庁的なシティプロモーションの取組方針や、情報発信力の強化などについて協議をしております。</p> <p>その他の主な事業といたしましては、専門の講師の方をお招きしてのシティプロモーション研修会を開催しております。その他としては、来年の国体で稲敷市はトランポリン競技の開催地となっておりますことから、トランポリンのまちということを発信しようということ、少しユニークで</p> |
|-----|---|

| | |
|-----|---|
| | <p>すが、ジャンピングプレジデントカレンダーというものも作成しております。</p> <p>その他、市のマスコットキャラクターであります、「稲敷いなすけ」が、ゆるキャラグランプリで県内1位、全国5位ということを記念いたしまして、昨年度、愛しき稲しきイルミネーション事業を開催しております。</p> <p>他には、シティプロモーション冊子の作成や、年賀状用のいなすけの画像の作成、フォトプロップスを使った撮影会なども開催しております。</p> <p>そして今年度平成30年度の事業ですが、予算額が24,665,000円となっております。平成29年度より大幅に増額となっておりますが、主に愛しき稲しきイルミネーション事業を大々的に開催する予定となっているため、増額となっているものです。この事業につきましては、ふるさと応援寄付金を活用した事業でございまして、チラシのほうも後ろに付けてございますが、今年は市の新利根地区センターにおきまして、11月22日から1月6日まで開催する予定となっております。詳細につきましては、実行委員会を立ち上げており、委員会で協議していくこととなりますが、多くの市民の方々と一緒にイルミネーションのイベントを作ることをイメージしております。</p> <p>その他、29年度との違いにつきましては、アニバーサリーボード、ウェルカムボードを作成して、市役所に設置しております。これは婚姻届等を出されたお二人が、記念写真を撮っていただけるようなもので、稲敷市のおもてなしの気持ちを込めたものです。写真は職員がお手伝いをし、そして、写真の他に結婚記念証のプレゼントなどもしております。</p> <p>その他につきましては、「I♡稲敷」という大きなモニュメントも作成しました。稲敷を好きだということを視覚的に訴えて、写真などに撮っていただいて、SNS等で発信されることを期待しております。そして、このモニュメントは組み立て式となっております、持ち運びが可能です。今後色々なイベント等で、持ち出して利用することも想定しております。今現在につきましては、庁舎の1階に設置してございます。以上が平成30年度の新規事業です。</p> <p>お配りしている資料の次のページにつきましては、平成28年度に策定したシティプロモーションアクションプランの年次計画となっております。この中では、導入に至っていないもの、あるいは見直しを進めているもの等もありますが、この年次計画に基づいて、事業展開をしているところですので。以上がシティプロモーション事業の概要となります。よろしくお願ひ致します。</p> |
| 委員長 | <p>最初に伺いたいのは、シティプロモーション推進事業と、愛しき稲しき推進事業は、別事業ということで良いですか。</p> |

| | |
|-----|---|
| 担当課 | 両方を合わせてシティプロモーション推進事業ということです。 |
| 委員長 | 金銭的には2つの事業を足した金額で考えれば良いですか。 |
| 担当課 | そうですね。 |
| 委員長 | そうすると、シティプロモーション事業に、今年は3000万円程度の額を投入するというふうに考えて良いのですか。 |
| 担当課 | そうですね、人件費の部分も入っていますが、合わせるとそういった形になっています。 |
| 委員長 | まあ、シティプロモーションで、調書で付けてあるものはほとんど人件費用なのですが。 |
| 担当課 | はい。 |
| 委員長 | <p>庁舎1階にある「I♡稲敷」は目立ちますが、庁舎の中にあそこに置いた時に、あその前では写真は撮りませんね。後ろに事務室の人たちが見えて、何かちょっと違うなという感じで、残念ですね。</p> <p>やはりあのパターンは、元々はニューヨークの街の大きなビルの前の広場に置かれたパターンから、大体皆同じようなI♡～を作っているのですけれど、少し広い空間でないと、なかなか来てくれないかもしれませんね。役所の中では一番広い空間かもしれませんが、後ろが邪魔ですね。</p> |
| 担当課 | イベントなどで持ち出して使うことは想定しているのですが、イベントの無いときはいまのところ市庁舎の中にあるような感じです。 |
| 委員長 | どうですか皆さん。 |
| 委員 | 早速うちの職員が、この間婚姻届を出して、アニバーサリーボードの前で写真を撮ってきたようです。良いですね、若い人は。 |
| 委員 | 今配っていただいた、30年度の計画書の、その他の財源1900万とあるのは何ですか。 |
| 担当課 | これはふるさと納税の寄附金を活用しているものです。 |
| 委員 | いつも活用するのですか。今年だけですか。 |
| 担当課 | <p>昨年は活用してないです。今年からこのイルミネーションの事業費が大きくなったので、今年度はふるさと応援寄付金、約1900万円を活用させていただいて、大きくイルミネーションを行います。</p> <p>その予算分が去年から今年への予算増額部分となります。</p> |
| 委員長 | <p>イルミネーションというのは、色々なところでやっていますが、すべて公のお金だけのイルミネーションというのではないのですよね。厳しいところだと、公のお金は1/3とかです。</p> <p>やはり、半分ぐらいは何か、少なくとも色々な形で、個人だけでやっているところも多いのですが、何か少し、市のお金をダイレクトに使っているというイメージしかないなと思いました。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | では、市以外の寄付なども集めるのですか。 |
| 担当課 | <p>今年度については、この予算の中で行う予定なのですが、実行委員会のほうでも、今年度小規模で始めて、今度は大々的にということなのですが、できれば次年度以降も継続していきたいと思っています。</p> <p>しかし委員長が仰ったように、今のところ市のお金だけの形ですので、例えば寄付金ですとか、協賛金ですとか、そういったことにも取り組んで、来年、それから先にも結びつけていきたいと考えておりますので、そういったことも実行委員会のほうで検討していきたいと思います。</p> <p>しかし、他の事例なども見ているのですが、なかなか実際は集まらないようです。今年はこの予算ですが、次年度以降に向けてはそういった仕組みを作りたいと考えております。</p> |
| 委員長 | なのに、イルミネーションを実行委員会でやるのでしょうか。公費ばかりであるのならば、直接やっても良いのではないですか。 |
| 担当課 | 実行委員さんも、公募をいたしまして、市民の方からイルミネーションに興味のある方などに入っていたらこうでしたのですけど、2人だけでした。 |
| 担当課 | こちらが選出した方と合わせて13人です。 |
| 委員 | もう立ち上がっているのですか。 |
| 担当課 | 5月から立ち上がっています。 |
| 委員長 | <p>実行委員が、その企画を公費で出して、他のお金が入ってこないというのも、説明がつかないと思います。</p> <p>昔経験があるのですが、実行委員会でやって、市の負担を1/3くらいにしようということにしました。1/3でできるとは思わなかったのですが、職員みんなで寄付金を出そうということになり、役所のほとんどの職員が千円を寄附してくれました。そしてそれを新聞に掲載してもらいました。そうしたら、それまで市内の銀行や企業は、あまり協力していなかったのですが、格好が付かなくて、銀行や信用組合なども、全職員から寄附していただけるようになって、2年後3年後にもものすごい金額になりました。</p> <p>お金の集め方はやりようです。有名なのが、神戸のミレニアムです。あれも、役所がお金を出しているとは思いますが、殆どが色々なお金ですよ。</p> <p>ミレニアムバッジを売っているのですが、結構高いものですが、みんなが買うのです。そういったお金が現収になっています。バッジが毎年少しずつデザインが違うものですから、毎年集めている人もいます。</p> <p>ミレニアムは、LEDではない普通の電球でやっていましたが、今はLEDに少しずつ換えていって、1度中止したのですが、今も続いています。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>す。期間も長くないのですよ。ものすごい観光資源になっているそうです。やはり、こういうものは仕掛け方なのではないかと思います。</p> |
| 担当課 | <p>工夫が必要ですね。</p> |
| 委員長 | <p>ですから、何かうちの隣で電気が点いて「綺麗だわ」というだけで終わってしまうのではなくて、やはりそここのところに、どう自分が行って、これをつけているぞとか、そういうものがひょっとしたら大事なのかもしれませんね。</p> <p>シティプロモーションというのは基本的に、自分が稲敷を誇りに思うと、自分の口から自信を持って言えないと、シティプロモーションにならないですよ。茨城県はそういうのが一番下手です。だからいつも最下位なのです。</p> <p>茨城県の人に話を聞くと、「茨城はねえ…」と自慢しないのです。京都の人であれば全然違うでしょう。「ああ、うちはね…」と話し出すでしょう。茨城県の人は何か、心優しいというか、もう少し自信を持って。自分が言うか言わないかなのですよ。その辺りがやはり、いくらお金をかけてプロモーションをしても、地元の人が、「ああ、やっているんだってね」で終わりにしたのでは意味が無いと思うのです。</p> |
| 担当課 | <p>イルミネーションについて、もう少しご説明をしたいと思います。先程、実行委員会に関しましては、商工会、商工会青年部、江戸崎のまちづくり協同組合、ママワークス、JA農協など、ある意味メインになってくの方々を実行委員会に入れておまして、チラシにも書いてあるのですが、屋台村などを毎週土曜日にやる予定で考えております。その屋台村に、観光協会さんなどに出席していただけるようなメンバーを揃えており、プラス、一般の方々も入ってやっています。</p> <p>ホログラムシートという、キラキラするプラスチックの板に、子どもたちの絵を描いてもらって、700枚分の子どもたちの絵が並んで、それがキラキラするような形で考えています。親も子供の絵は見たくなると思うので、人も集まる。そういうところからの視点でも、市民に愛されるイルミネーションを目指して動いている状況です。</p> |
| 委員長 | <p>努力は分かるのだけど、いくら団体を増やしても、費用は出さないでしょう。</p> |
| 担当課 | <p>そうです。</p> |
| 委員長 | <p>それではダメですよ。</p> |
| 委員 | <p>商工会主体で実行委員会が夏祭りで花火をやっていますが、それで寄付のような形で出来ているわけですから、今委員長が仰ったように、イルミネーションもそれなりに話をすれば、ある程度の金額は可能かと思うのですけれど。</p> |

| | |
|-----|--|
| 担当課 | 今年初めての事業となります。来年はそのような募集や寄付金などを進めていければと考えています。 |
| 委員長 | ではやはり、点灯式は派手にやるとか、そこに参加するにはお金を出した人の席を確保するとか、そういうのはどうでしょうか。 |
| 担当課 | そうですね。 |
| 委員長 | やはり、最前列に座れないと格好がつかない人は沢山いますから。 |
| 委員 | どのくらいの大きさを予定しているのですか。 |
| 担当課 | 20万球ぐらいです。 |
| 委員 | 20万球と言われても、想像がつかないです。 |
| 担当課 | 土浦の水郷公園のイルミネーションはわかりますか。あのぐらいです。 |
| 委員 | かなりのものですね。 |
| 委員 | グラウンドの方で実施するのですか。 |
| 担当課 | 地区センターの前の芝生のグラウンドのようなところです。グラウンドではないのですけれど。芝生の、少し広がっている部分がありまして、そこにイルミネーションを仕掛けます。 |
| 委員 | 木が1本真ん中にありますよね。 |
| 担当課 | そうですね。そこに、それプラスこういうものを設置したりして、キラキラさせます。 |
| 委員長 | 神戸のは、ものすごく大きいものなのです。 |
| 委員 | 東京でも丸の内で行っています。 |
| 委員 | 行ったことはありませんが、六本木ヒルズでもありますね。これは、テレビ局などは来るのですか。 |
| 担当課 | それはこれから情報を投げるところです。テレビ局には来てもらえればと思っています。 |
| 委員 | NHK ぐらい来てくれるといいですね。 |
| 担当課 | そうですね。報道機関には投げ込みをする予定です。 |
| 委員 | 国道408号の近くなので、少し明かりが見えれば「あそこは何か」と立ち寄ってくれるのではないのでしょうか。 |
| 担当課 | 来ていただければ本当に有難いことです。 |
| 委員 | 広い駐車場もありますしね。 |
| 担当課 | そうですね。 |
| 委員長 | 物語が必要でしょう。 |
| 担当課 | そうですね。ただただキラキラやっていたら良いというものではないと |

| | |
|-----|---|
| | 思います。 |
| 委員 | 屋台などは駐車場の部分でやるのですか。 |
| 担当課 | そうですね。一番大きいところを。 |
| 委員 | そうすると、見に来る方は、運動公園の駐車場に停めて、道を渡って見に行く形ですね。 |
| 委員 | 地域おこし隊の方たちも、もちろん加わっていただいているのですか。 |
| 担当課 | 地域おこし隊の方も委員会の中に加わっていただいています。 |
| 委員 | 新利根グラウンドと地区センターの間に道路がありますが、あそこには街路樹が立っていますよね。街路というのは動線の1つとして、そういったセッティングなども考えていますか。 |
| 委員 | 街路樹もイルミネーションをやります。 |
| 委員長 | そうすると、やはり全然違うのですよね。 明かりを追って行ってみたら、こういうことだったんだ、というような感じになりますね。 |
| 担当課 | 入り口部分もキラキラさせて、分かりやすくすることを考えています。 |
| 委員 | そうですね、セッティングする場所は少し奥ですね。 |
| 委員 | これは専門のデザイン会社にお問い合わせするのですか。 |
| 担当課 | 最初はある程度手作りといいますか、自分たちで装飾なども考えたのですが、聞いてみると、1回目ですので、専門の方に頼まないとイルミネーションとしてまとまらないという話を聞き、今年はデザインを委託しております。あとは一部装飾も委託しております。 |
| 委員 | そのほうが良いと思います。 |
| 委員長 | リースですか、買取りですか。 |
| 担当課 | リースと買取りです。そうすれば来年度もまた同じ予算額にはならないので。 |
| 委員 | 稲敷市をアピールするようなイルミネーションなのでしょうね。 |
| 担当課 | やはり色々のご意見を聞いているのですけれど、色々な地区をまわってほしいというご意見をいただいています。 |
| 委員 | 駐車場など、色々な兼ね合いを考えると、今の場所でいいかと思いません。 |
| 委員 | 1箇所だけではなくて、小さいもので構わないので、江戸崎駅か何かのところに置いていただけるといいと思います。江戸崎駅は結構乗り降りの人もいるわけですから。それで新利根のところで開催していますよとすれば、駅前も明るくなります。 |

| | |
|-----|--|
| 担当課 | 場所の設定についてはいろいろなご意見を頂き、仰るように江戸崎のまちなかでやってはどうかという意見もありましたが、このように1か月半もその場所でやっている、その場所にお住まいの方から、人が集まったり、駐車場の問題もあったり、色々のご意見が出ました。そういったことから、今年度については、新利根地区センターは駐車場もあるということで、決まったものです。 |
| 委員長 | あまりぐらつかないで、1か所でずっとやったら良いと思います。 |
| 担当課 | 委員長の仰るように、1か所でやっていくことでイルミネーションの精度も高まっていくと思います。 |
| 委員 | でも楽しみです。友達や親戚を皆呼んで見に行きたいと思います。 |
| 委員長 | 水戸では、水戸駅の北口から、大工町までだいたい2km、ずっと飾っています。 |
| 委員 | 丸の内は、結構横長なのですけれど、街路樹に電気が沢山点いているのですが、そこにミッキーマウスの豆電球が時々あるので、探してくださいというふうになっています。 稲敷も二番煎じですが、そういうものを付けると良いのではないのでしょうか。 |
| 委員長 | いなすけでね。 |
| 委員 | 子供たちはそういうものを見つけると喜びます。私も丸の内に行って、体験しました。 |
| 委員長 | それはどこもそうです。仙台の定禅寺のものも、両サイドと真ん中に2本で、4本のケヤキに沢山電気が点くのですけれど、どこか穴が空くのです。その穴が空いたところの中に、ハートの形に穴が空いているところがあって、皆それを探すのです。 |
| 委員 | そういうものがあれば良いですね。大人でも、やはり探すのが嬉しいものです。70のおじいさんでも探すのは嬉しい。 |
| 委員 | 雰囲気的に恋人同士などが行っても良いような感じなのですか。 |
| 担当課 | そのようにしたいなと考えております。 初日が、実は11月の22日で、「いい夫婦の日」なのです。なので、案としては、その日に届出を出してくれた人に点灯していただくかと考えています。 |
| 委員 | それは何の届ですか。 |
| 担当課 | 婚姻届です。 |
| 委員長 | その日にやるのだったら、市の職員が皆夫婦で行かなければ。 |
| 担当課 | それもそうですね。是非参加していただきたいです。 |

| | |
|-----|---|
| 委員長 | しかしこういうものはなかなか定着しません。水戸も夫婦で音楽会に来るようにと一生懸命働きかけました。しかしなかなか定着しないですね。 |
| 担当課 | そうですね。とりあえず、まだ探り探りやっているところではあります。 |
| 委員 | 将来的に体育館の壁面にプロジェクションマッピングも。 |
| 委員長 | 費用の値段は下がってきたようですよ。 |
| 委員 | そうなのですか。新利根地区にも体育館はありますが。 |
| 委員 | 壁面があるので。今はいくらでも色々なことが出来てしまいますから、そういう違う事業のようなものをプラスアルファで考えていければ、集客率は上がってきて、さすが稲敷市の秘書公聴課のシティプロモーションと言われるかと思います。 |
| 委員 | 新利根のグラウンドでは、よくサッカーや野球の試合をやっていますよね。見に来てくれるのではないのでしょうか。 |
| 委員 | 東京駅のプロジェクションマッピングが出来たときに、行ったのですが、6時からのを見たら、人が多すぎて、6時半からもう中止になってしまいました。人が多すぎたので。 |
| 委員 | イルミネーションというと、東京ドイツ村ですね。 |
| 委員 | あそこも綺麗ですよ。下に散りばめた電球が。 |
| 委員長 | どうですか。よろしいですか。はい、ありがとうございました。 |

(2) 評価結果の取りまとめ

| | |
|-----|--|
| 委員長 | 《東京オリンピック・パラリンピック誘致推進事業》 では始めます。それではよろしいですか。まず東京オリンピック・パラリンピック誘致推進事業については、3名が「一部見直しが必要」で、「概ね適正」と、「適正と言えない」1名ずつですので、これはやはり「一部見直し」でよろしいでしょうか。 |
| 全員 | はい。 |
| 委員長 | では、意見を整理して付けてください。 《公共施設再編事業》 その次、公共施設再編事業は、「概ね適正」「一部見直し」がそれぞれ2名、「適正と言えない」が1名と意見が分かれました。真ん中を取ってもよろしいでしょうか。 |
| 全員 | はい。 |
| 委員長 | では、「一部見直し」ということで、整理して意見を付けていただくということでもよろしいですね。 《コールセンター事業》 |

| | |
|-----|---|
| | その次、コールセンター事業について、これは最初の例と同じで3名が「一部見直しが必要」で、「概ね適正」と「適正と言えない」1名ずつですので、真ん中を取って「一部見直し」、意見を整理して付けるということによろしいですか。 |
| 全員 | はい。 |
| 委員長 | 《シティプロモーション推進事業》 最後が、シティプロモーション推進事業について、「概ね適正」が3、「一部見直しが必要」が2で、多数決だと「概ね適正」ですが、いかがいたしましょうか。適正に意見を付ける形にしますか。よろしいですか。 |
| 全員 | はい。 |
| 委員 | 先程委員長が仰ったような、経費の部分ですね。 |
| 委員長 | まあ、やらなくてはならないという気持ちの強さは分かるのですが、全額実行委員会公費というのは少し考えたいところです。その辺りはやはり、繰り出してやっていくという形になっていくのでしょうか。 |

(3) その他

| | |
|-----|--|
| 委員長 | ではそういうことで、今回は27日でしたか。 |
| 事務局 | はい、今回は、昨年度も最後に報告書のたたき台を皆様に確認いただきたいと思っております。委員会を開く前には、事務局から委員の皆様にもメールでお送りしますので、それで確認していただき、委員会の中で協議いただけたらと思います。 |
| 委員長 | 1回目ではなくて2回目ですので、報告書そのものを、きちんと報告書の中身を1件1件読むというよりも、報告書自体を読んで、こういうことに気を付けなくてはならないのだなというのが分かるような方向に、少しずつ、2年目3年目と、グレードアップしていけば良いというもので、その辺りを少し意識していただきたいと思います。 最終的にはその事業をやっていく指針になるような、そういうまとめが最後はできれば良いのであって、それが一気にいく必要はないと思います。こういう事に気を付けようということを、各担当課も少し事業を進めるにあたって、意識してその辺りを整理することができると思うので、そういう整理の仕方を少し意識していただければと思います。 |
| 事務局 | ではそちらのほうを意識して叩き台を作成したいと思います。 また、来週委員会を開いた後は、10月に市長への報告ということになります。日程については次回の時でよろしいでしょうか。 |
| 委員長 | 次回で良いのではないのでしょうか。 |
| 事務局 | わかりました。 |
| 委員長 | 今回は9月27日1時から開催でよろしいですか。 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | はい また、本日でヒアリングが終わりましたので、昨年同様皆様からご指摘のありました、評価の結果や理由、委員から意見を担当課に報告し、担当課で今後どう取り組んでいくかという方針を、事務局のほうで取りまとめ、市長へ報告する報告書に反映できるようにしたいと考えております。 |
| 委員 | 去年は報告書にそれぞれ何かまとめを書きましたよね。 |
| 事務局 | 昨年度は、最後に委員からの講評をいただきました。 また、事務局からも講評として総括しました。 |
| 委員長 | そんなに時間的な余裕はありませんよ、きっと。 ボリュームはどのぐらいにしますか。 |
| 事務局 | ボリューム的には昨年と同じくらいで良いのではないかと考えています。 |
| 委員長 | そうですね、そうすると、字数を見ると、800字とか、そのくらいでしょうか。基本は。それを超えても良いのでしょうか。そのぐらいのイメージで、400字でも良いですし。 |
| 事務局 | 昨年度も委員からはデータで頂いておりますもで、同じような形でお願いします。 |
| 委員長 | 何を書いたか忘れてしまったので、昨年度の報告書は配っておいていただけますか。去年と同じ事を丸々書いてしまっても恥ずかしいではないですか。 |
| 事務局 | 昨年度のデータがあるのでお配りします。メールでお配りするというところでよろしいでしょうか。それとも次回印刷したものをお配りしますか。 |
| 委員長 | いえ、メールで送っていただければ大丈夫です。 |
| 事務局 | 分かりました。 |

4. 閉会

| | |
|-----|------------------------------|
| 委員長 | ではこの辺りで今日はよろしいでしょうか。お疲れ様でした。 |
| 全員 | お疲れ様でした。 |

以上